

令和7年度（横須賀南高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令の遵守意識の向上	常に教育公務員としての高い倫理観念を持った言動を行い、生徒・保護者及び県民の信頼に応えられるよう不祥事の根絶を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ① 法令遵守の意識向上のため、不祥事防止研修会や朝の打合せ等で不祥事防止資料をもとに全職員による研修や折に触れて管理職からの講話を行った。 ② 年間2回の校長による不祥事防止の内容を含む面談を実施し意識の向上を図るとともに、気にかかることがあればすぐに管理職による声掛けを行い不祥事の未然防止に努めた。 ③ 公務旅行については管理職による根拠資料の確認を徹底して行い不適切旅行の根絶を図った。また、庶務事務システムとTeamsへの早期入力を徹底させ、適切な指導を実施した。 ④ 勤務時間の厳守について常に呼びかけを行い、職員も意識して業務を行う習慣ができた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	他者への人権意識を常に持つことにより、ハラスメント行為の徹底防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 人権研修会では具体的な事例を挙げ、自分事として考えさせグループでの情報共有により、人権に対する意識の向上を図った。 ② アンケートや生徒からのハラスメントの情報を迅速に管理職へ報告・相談する体制が整っている。 ③ 「気になる」言動についてお互いが注意しあい、管理職との情報共有ができる環境整備ができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識をもって取り組み、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の徹底防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ① セクハラ事例のニュースが報道させるたび他人ごととせず不祥事防止講話を行い、もつとも重要な課題として徹底防止を図った。 ② 生徒対応は複数で行い、単独で行う場合は周囲の目に触れる場所で行うことが徹底されている。 ③ 準備室の適正使用について繰り返し周知徹底を行い、管理職による定期的な点検を行い、適正な対応が行われている。 ④ 県によるアンケートの他に、学校独自のアンケートを実施してわいせつ・セクハラ行為の徹底防止を図っている。また、生徒からの情報も迅速に管理職へ報告する体制ができています。 ⑤ 同僚の「気にかかる」言動はお互いに注意しあったり管理職に報告したりして、セクハラの未然防止に努めた。 ⑥ 校長が教職員全員に対し、SNSの適正使用を含む不祥事防止について個人面談を行った。 ⑦ 休日に施設管理員が教室・準備室等の施設を巡回確認を実施した。

<p>体罰、不適切な指導の防止</p>	<p>生徒の人権に対する配慮を心掛け適切な生徒指導に努め、体罰・不適切指導を防止する。</p>	<p>① 生徒を指導する際は複数での対応と丁寧な聞き取り、生徒の人権を尊重した言動をとることを徹底した。</p> <p>② 県による体罰アンケートの他に、学校独自のアンケートを年2回実施して体罰行為の徹底防止を図った。</p> <p>③ 体罰や不適切指導の事例をもとに、グループによる検討を行い、体罰の未然防止の徹底を図った。</p>
<p>入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</p>	<p>マニュアルを遵守し関係書類の作成や取扱、確認に係る体制と手順を明確にして、事故を防止する。</p>	<p>① 毎年既存のマニュアルの見直しを行った上で、検査方法のシミュレーションを入念に行い、円滑な業務遂行に努めているが、確認の不徹底によるミスが起きてしまった。今後は一人ひとりが繰り返し点検確認を行うよう徹底したい。</p> <p>② 指定校の実施要項を進路担当と管理職で確認し、出願に当たっても、マニュアルに従って複数の教員と管理職により点検を行い、事故の徹底防止を図った。</p> <p>③ 出願書類の発行について、教員の担当と事務の担当が連携を密にして、マニュアルに従ったミスのない出願業務の徹底を図った。</p>
<p>個人情報等の管理、情報セキュリティ対策</p>	<p>個人情報の管理と、情報セキュリティ対策を徹底して、紛失・遺漏等を防止する。</p>	<p>① 個人情報の取扱いは厳重に行うよう周知を行っており、校外への持ち出しは原則禁止としている。やむを得ない場合のみ管理職による確認許可を徹底した。</p> <p>② 県の原則に沿った本校の「個人情報の対策重要度分布票」に従って、重要書類の保管・廃棄を行った。</p> <p>③ 新入生の生徒・保護者に本校の個人情報の取扱い規定を周知徹底した。</p> <p>④ 個人情報が含まれた書類を外部へ交付する際には、複数による点検・確認と管理職による点検を徹底して行い誤配付の防止を徹底した。</p> <p>⑤ 收受した個人情報を含む文書は、手渡しを原則として、無理な場合は鍵のかかる保管場所に保管するなど書類の紛失防止に努めた。</p>
<p>交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<p>交通法規を守り、交通事故の発生を未然に防止し、スピード違反、酒酔い、酒気帯び運転を根絶する</p>	<p>① 県からの啓発資料を利用して研修会を開催したり、交通事故に対する意識の啓発を行い交通事故の徹底防止を図った。</p> <p>② 公務員による交通事故のニュースがあればその都度自分事として捉えるよう事故防止講話を行い、注意喚起を行った。</p>

業務執行体制の確保等	働き方改革の具体的実施と風通しの良い職場環境づくりを行い、日常的に相互に情報共有を図り、円滑で確実な業務遂行を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務ファイルを作成したら必ず共有フォルダに保存して、迅速で円滑な業務遂行に繋げた。 ② グループ業務や担任業務等の進捗状況を把握し、個人の負担が過剰にならないよう声掛けや指導を行うとともに、教員間や管理職となんでも相談できる体制を構築できた。 ③ 服務管理の電子化を徹底し、サービスの迅速で確実な処理を行った。
財務事務等の適正執行	私費会計基準を遵守し、迅速で適正な処理を行い、会計処理業務の事故不祥事の防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ① 年度当初に私費会計担当者を対象に「私費会計事務処理の手引き」を利用して研修を行った。特に財務事務調査で指摘を受けた事項について注意喚起を行い、円滑でミスのない会計処理の徹底を図った。 ② 公費と私費の区別を会計担当者に周知し、ミスのない円滑な処理を徹底した。 ③ 各種会計簿等を適正に作成し保管に努め、保護者への通知、報告も迅速に行った。 ④ 財務事務調査の結果を職員に周知し、適正な会計処理の徹底を図った。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

不祥事防止プログラムに従った取組を着実に継続し、全教職員が不祥事防止を意識しながら教育活動を進めることができた。また、日ごろから教育委員会通知、啓発資料による不祥事防止研修の他に、新聞記事の不祥事事例をタイムリーに職員室に掲示するとともに、事故事例を題材とした研修や講話を行ってきた。さらに外部講師による全職員対象の不祥事防止研修を実施して、常に教育公務員としての自覚と責任を認識させ、不祥事防止に対する意識の向上を図った。

しかしながら、令和7年度にも点検・確認を怠ったためのミスが起きており、校長として大変遺憾なことであり、詳細な点にも気を配り万全のチェック体制を構築し、不祥事防止へ一層の意識啓発及び具体的な取組の実施に努める所存である。

具体的には、次のような取組を令和8年度も継続して行う。

- ・視聴覚資料を利用して自分事として考えられる効果的な事故防止研修を計画的に実施する。
- ・折に触れて不祥事防止研修や管理職による不祥事防止講話を実施する。
- ・朝の職員打合せ時に適宜、最新情報を周知して日常的に啓発と注意喚起を行う。
- ・校長は職員と複数回の面談機会を設定し、職員への注意喚起に努めるとともに、職員の言動に気になることや不審な点があればすぐに声掛けを行い、状況の把握に努める。
- ・点検・確認は点検表を作成して計画的に行う。